

産業建設常任委員会

日 時 令和3年6月25日（金）午前10時20分[見込み]～
場 所 第2委員会室

1 開議

2 事務局日程説明

3 所管分付託議案審査（説明～質疑）

【産業観光部】

（1）第4号議案 令和3年度亀岡市一般会計補正予算（第3号）

4 討論～採決

（休憩）

5 委員長報告の確認

6 議会だより原稿の確認

7 その他

産業建設常任委員会委員長報告

(令和3年6月25日)

産業建設常任委員会に付託されました議案について、審査の経過概要とその結果を報告します。

まず、**第1号議案 令和3年度亀岡市一般会計補正予算(第2号)**の本委員会所管分ではありますが、その主な内容は、

- ・**総務費**では、地域の生活環境を整備し、夜間の安全・安心を確保するために、LED防犯灯を設置する経費の増額補正。
- ・**農林水産業費**では、ウッドスタート宣言を契機とする木育推進事業に係る森林活用推進事業経費や、新規就農者への支援として農機シェアリングサービスの構築を支援する農業担い手づくり育成事業経費の増額補正。
- ・**商工費**では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う影響を、大きく受けている市内観光業を支援し、観光需要の喚起等を図るため、観光推進経費の増額補正。
- ・**土木費**では、土地区画整理事業や道路整備など、社会資本整備に伴う補助事業の採択による増額補正であります。

また、リース手法を活用したLED化を図るため、都市公園の照明灯に係る事業経費について、**債務負担行為**が設定されています。

採決の結果は、全員をもって 原案可決すべきものと決定しました。

なお、可決にあたり、森林活用推進事業経費に係るウッドスタート事業については、子どもたちのための木育を取り入れた非常にすばらしい取組であるが、

市民の生命と財産、子どもの未来を守るためには、市内の森林整備が最優先であると考えられるため、関係機関と連携を図り、早急に整備計画を立てて、森林^{しんりん}環境譲与税^{かんきょうじょうよぜい}の活用方法をしっかりと考えられたい。また、委員会へ定期的に報告するよう、強く指摘要望するものであります。

次に、**第4号議案 令和3年度亀岡市一般会計補正予算（第3号）**の本委員会所管分ではありますが、新型コロナウイルス感染症の影響に係る緊急対策に要する経費であり、その内容は、

- ・**商工費**では、コロナ禍の長期化により、市内の観光業界が極めて厳しい環境にある中、観光地を再生するための取組を、短期集中で強力に推進するための観光推進経費の増額補正であります。

採決に先立ち、亀岡の観光産業を活性させるためのチャンスと捉え、事業実施を期待するとの賛成討論がありました。採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

なお、可決にあたり、観光推進経費に係る既存観光拠点の再生・高付加^{こうふか}価値化^{かちか}推進事業については、令和4年2月末までの短期間に、事業を全て完了させなければならないため、事業の着手前^{ちやくしゅまえ}からしっかりと計画を確認し、常に、関係機関と報告・連絡・相談ができる連携体制を作るとともに、委員会へ定期的に報告すること。また、委託先に頼るのではなく、職員が主体的に事業を推進していかなければならないと、強く指摘要望するものであります。

以上、簡単ではありますが本委員会の報告といたします。

〇ウッドスタート事業で森林活用を促進

一般会計補正予算（第2号）可決（全員賛成）

・森林活用推進事業経費 220万円増額

本市域面積の7割を占め、市民生活に寄与する多面的機能を持った森林を守り育て、次世代へ引き継いでいくため、世界に誇れる環境先進都市やSDGs未来都市の視点も踏まえて、全ての子どもたちが木のぬくもりを感じながら楽しく豊かに育つ環境整備を目指すウッドスタート事業に取り組む。主な内容は、木育キャラバン（移動おもちゃ美術館）の開催、新生児に誕生祝い品として、地産地消の木製玩具をプレゼントする取組の検討など。

【主な質疑】

問 木製玩具のプレゼントは有効なのか。

答 木育・子育て環境

整備・地元経済の活性化などに、有効であると考え。関係機関とも連携して進めていく。

問 子育てひろばなどに玩具を提供して、子どもの様子を見ながらリサーチして、木製玩具のプレゼントを考えようか。

答 当事者の希望や意見を聞きながら、よりよい事業の推進に努めていく。

問 森林環境譲与税の主たる目的である、森林整備・保全を優先的に進めるべきではないのか。

答 木材価格が高騰しているチャンスを生かして、間伐を進め、販売していくなど、ウッドスタート事業とのバランスを考えながら、森林整備を計画的に進めていく。